

天然更新したトドマツ幼樹で次世代のトドマツ資源を確保する

戦後、北海道では天然林が伐採されトドマツの人工林が広く造成されました。それらは現在30～50年生となっており、今後、収穫適期を迎えることとなります。皆伐後には再造林しますが、トドマツ人工林の中には天然更新した稚樹や幼樹が豊富にある林分も見受けられ、これらの成長を促すことができれば、次世代のトドマツ資源を低コストで確保できる可能性があります。そこで日高振興局森林室と林業試験場では、道有林を活用した新たな施業技術の実証実験の一環として、「人工林における次世代更新技術の開発」プロジェクトに取り組んでいます。

道有林日高管理区にある試験地では、膝から腰の高さぐらいのトドマツ幼樹が一面に更新しています（写真－1）。これらの幼樹の成長を促すため、平成25年2月に0.96haの小面積皆伐を行いました。また、伐採を行わない対照区も設けました。同年4～5月頃には、伐採区の幼樹の葉の大部分が茶色く変色しました（写真－2）。このまま枯れるのかと思っていたところ、その後開葉した個体も多く、全体的に少し緑色になりました（写真－3）。11月までには、茶色く変色した葉はほぼ全て落葉し、主として当年に開葉した葉だけがついた木がたくさんあるという状態になっていました（写真－4）。これらの幼樹が今後成長し次世代のトドマツ資源として有望かどうかを継続調査し、その結果をお知らせしていきたいと考えています。

（道東支場 中川昌彦）



写真－1 人工林内に天然更新したトドマツ幼樹



写真－2 伐採区全景 (5月28日)



写真－3 伐採区全景 (7月23日)



写真－4 伐採区におけるトドマツ幼樹 (11月9日)

林業試験場 本 場 TEL 0126-63-4164 FAX 0126-63-4166
道南支場 TEL 0138-47-1024 FAX 0138-47-1024
道東支場 TEL 0156-64-5434 FAX 0156-64-5434
道北支場 TEL 01656-7-2164 FAX 01656-7-2164
ホームページ <http://www.fri.hro.or.jp/>

発行年月 平成26年8月
発 行 地方独立行政法人
北海道立総合研究機構
森林研究本部 林業試験場
〒079-0198 美唄市光珠内町東山